

# 歯つらつ


2017年1月

250号

～発行所～

齋藤歯科診療所  
由利本荘市美倉町 47-1

フシノヨイハニ

 0120-24-4182

FAX 0184-24-1440

www.saitoshika.net

～診療時間～

曜日:月曜日～土曜日  
時間:午前 9:00～1:00  
午後 2:00～6:00

～休診日～

日曜・祝日  
第2・4木曜日

齋藤歯科診療所院内報「歯つらつ」をご愛読の皆様、あけましておめでとうございませう。院長の斎藤です。

「歯つらつ」も今年で22年目となり、発刊以来今号で二五〇号目を迎えることができました。これもひとえに皆様からのご愛顧のお蔭で、心より御礼申し上げます。

なんとかつつがなく新年を迎えられました。去年も多事多端な年であったと記憶しております。皆様はどうだったでしょうか？その年の感想について漢字能力検定協会が行っている「今年の漢字」というアンケートによると、一番多かったのは「金」だったそうです。

オリンピックの金メダルな

## 新年のご挨拶 明けましておめでとうございます

スポーツ関連のめでたい意味もあれば、政治資金問題を目指す意味もあったようです。ちなみに秋田県知事が選んだのは「驚」だそうです。

大きな視点で見ると、私としてはアメリカ大統領選挙が一番のニュースでした。大方の予想を裏切る結果となったわけですが、政府や外務省にとっては文字通り「驚」だったようで首相が慌てて次期大統領に挨拶のため渡米したとか。どちらが勝っても良いように準備するのが外交というものではないかと思いましたが、私もいわば企業のトップとして学ぶべき事例と言えそうです。

当院においても、さまざまなきことがありました。歯科衛

生士3名が出産し、元気な赤ちゃんを得ました。昨今のよくな混沌とした時代であればこそ、元気な子供の健やかなる成長を社会全体で見守っていきたいものです。

診療についても様々な学びがありました。昨今言われておりますのが、歯周病と全身疾患との関連で、特に糖尿病との関連は深いという報告が相次いでなされております。糖尿病という恐るべき病との関わりは、今後も学ぶ必要があるかと思えます。

また、訪問診療の件数も少しずつ増えてまいりました。施設や病院にお邪魔しますと、食べたくとも義歯の具合が悪いななどで食べられないため、体が弱ってくる方がたくさん

おられます。

そういった方の治療をさせていただきますと少しづつ元気になつてくださり、食事の内容もより健常者に近くすることができま

います。いずれにしても、昔の歯科治療には無かった関わり方といえ、歯科医療の携わる者として責任の重さを感じます。

一方で、27年の末に導入した器材としてe-maxというものがあります。これはセラミックで被せものなどを作製するシステムです。金属アレルギーがある、金属色が見えるのが嫌で白い冠を被せたい、といった方にはおすすすめしたいです。こちらにも少しづつ症例が増えてきました。

さて、世情がどう変化しようとも当院を信頼して通院下さる患者様の期待に答えるために不易流行の気概で努力を続ける所存です。至らぬ点もあろうかと存じますが、今年もご指導くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



## ある日のスタッフ

今月は歯科衛生士の小助川佳奈です。

私は小さい頃から本を読むのがとても好きです。家族がよく本を読む人達だったからかもしれません。今でも休日になると図書館や本屋によく通います。以前は、自分のお気に入りの作家の本しか読まなかったのですが、最近は本の表紙の絵だっ

たり、題名で選んでいます。題名からは想像のできない内容だった本もありますし、ストリートにそのままの内容だったものもあり、毎回選ぶだけでもとてもワクワクします。本の種類としてはノンフィクションの物が好きです。ゆっくりと想像しながら読んでいくので、時間は少しかかりますが、じっくり読み込んでいます。本は読んでいるうちに様々な世界に連れて行ってくれて、と

ても楽しいです。また、自分の知らない言葉や表現に出会うことができるので、様々な勉強になります。これからも沢山の本を読んで学んでいきたいですし、お気に入りの本を見つけていきたいです。



## 講演会に参加して

12月10日に本荘グランドホテルで、平成28年度由利本荘歯科医師会学術講演会が開催され当院スタッフと共に参加してきました。

演題は「不正咬合への早期対応について」というもので、講師は当院も日頃お世話になっている岩手医科大学副学長・歯学部長の三浦廣行先生です。今回の学術講演は、テーマが「矯正」についてということもあり、非



常に興味深く聴いてきました。人の印象を決めるのはほとんどが視覚によってだそうです。また初めて会う人の顔を見る時まず相手のどこに目がいくかと

いうアンケートでは目元に次いで口元という回答が多いということでした。

しかしながら自分の口元、とりわけ歯並びには自信がないという人も多くいるようです。それは成人に限ったことではなく、お子さんの歯並びについて悩んでいる親御さんも多くいらっしゃいます。

従来はある程度の年齢、例えば永久歯が生え揃ってからでないと矯正はできないと思われていました。最近はずっと早期

に対応できるようになっています。その方が成人になってから矯正を始めるより、後の管理が楽になると考えられ始めたからです。

また、子供の成長・発育には食事が欠かせませんが、虫歯や歯並びの問題で噛めない、お子さんもいるようです。

必然的にブラッシングも疎かになり更に状況を悪化させているかもしれません。非常に怖いことです。こういった事柄を改善・予防するためにも矯正治療の早期介入が有効であることが学べた講演会でした。

— 後藤 —

## 休診日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1 休診	2 休診	3 休診	4 休診	5	6	7
8 休診	9 休診	10	11	12 休診	13	14 午後 休診
15 休診	16	17	18	19	20	21
22 休診	23	24	25	26 休診	27	28
29 休診	30	31	1月			